

職場体験感想文コンクール2024

タイトル	大変だからこそ	事務局	302
学校名	酒田市立第三中学校 2	氏名	白澤 実夕

働くことって大変だ。親を見ていれば分かる。毎日へとへとになって帰ってくる。休日の早朝に仕事に行くことだ、てしょっちゃうだ。働きたくないと思う。

そんな中、「わくわくワーク」が行われた。

荘内エネルギー株式会社では、車のボンネットのキーパーコーティングを体験した。初めはくもっていたボンネットが、磨いていくにつれ、ピカピカになって頑張ってよかたと思えた。体育館のライトがボンネットに反射して輝いて見えた。

また、酒田警察署では、指紋採取を体験した。刑事ドラマで見ていて、あこがれていたのでわくわくした。

だけど、楽しいことだけではないと思う。私はボンネットを30分しか磨いていないけれど、1日中磨いていたら腰がいたくなりそうだ。また、指紋採取だって、本当だったらミスが許されない厳しい仕事だ。さらに、パトカーに乗ってる時間パトロールし続け、ましてやそれが、深夜だったらなおさら大変だ。

そんなことを思っていたとき、体験先の方のお話を思い出した。

「大変なことは何ですか。」

と質問したときに言った

「一番大変なことは1晩中飛行機を整備することだけど、整備した飛行機が飛んでいくのが一番のやりがいだ。ったりするんです。大変なこととやりがいって紙一重なんです。」

という言葉だ。確かにそうかもしれない。親が、「大変だけど、一生懸命取り組んでうまくいったときがうれしかったよ。」

と言っていたことを思い出した。私も駅伝大会に出ることになって同じようなことを感じたことがある。大会に向けて練習していたとき、毎日長距離を走っていたのが苦しかった。何度もやめたいと思ったけれど走り終わってグランドを一周歩いていると今日もやりま、たぞという気持ちになり、風が心地よく感じられたばかり、続けてこられたのかもしれない。最初は駅伝に選手として出場できるとは思っていたがアンカーをまかされた。大会で走っているときは自分のところで追い越されなければいいと思っていたのに区間賞までもらうことができた。やってよかったと思えた。

働くことは大変だ。だからこそ、わくわくするのではないか。私の将来に急に光が差し込んだように感じた。